

講義コード		科目区分	基礎教育科目
(フリガナ)	ドウトク ニ	(フリガナ)	タカハシ ノリオ
授業科目名	道徳Ⅱ	担当教員名	高橋 憲夫
英文授業科目名	Morality II		
基準年次(開講期)	1年(後期)	履修形態	選択
曜日/時限/講義室	木 4限/浅草		
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	講義
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	道徳の時間を通して、過去の優れた日本人と向き合おう。		
授業概要・目的	道徳Ⅰで取り上げた事柄を、より詳しく、資料に基づいて検証します。それによって、日本人の道徳的、倫理的的精神性を深く理解し、自己の人間形成に役立てることを期待します。		
到達度評価の評価項目	期末テストの結果がすべて。但し、道徳Ⅰと同様に、単なる記憶が問題なのではなく、それを基に、如何に日本人の精神性について考え、深く理解したかということが評価のポイントです。		
授 業 計 画			
第1回	ガイダンス：後期の道徳の進め方		
第2回	日本人に受け継がれている道徳心、倫理観の主要な要素 その1. 商家の家訓 ①近江商人		
第3回	②伊勢商人		
第4回	③大阪商人		
第5回	その2. 武家の家訓 ①徳川家 徳川家康		
第6回	②上杉家 上杉鷹山		
第7回	③伊達家 伊達政宗		
第8回	教育と道徳心、倫理観：道徳心、倫理観の涵養と教育の果たす役割		
第9回	教育と道徳心、倫理観 1. 近代日本の教育制度と道徳：教育勅語と修身教育		
第10回	教育と道徳心、倫理観 2. 1947年の教育基本法の成立と民主教育		
第11回	教育と道徳心、倫理観 3. 教育基本法の改正(2006年)と改正箇所の問題 ①道徳の時間		
第12回	②家庭教育の見直し		
第13回	③地域社会、社会教育の見直し		
第14回	④コミュニティースクール		
第15回	まとめ：現代の日本人の道徳心、倫理観を構成する要素を詳細に辿り、理解したうえで、日本人の倫理的刷新について可能性を探る。		
教科書・参考書等	授業中に適宜、紹介する。		
授業で使用する機器等	P.C., O.H.P.		
予習・復習へのアドバイス	毎回の授業で知りえた事柄、情報をさらに詳しく調べ、そのことについて深く考えること。		
履修上の注意・受講条件等	道徳Ⅰと同様、日本人の道徳心や倫理観に強い関心のある学生の受講を希望します。		
成績評価の基準等	期末テストの評価80%、授業内の小テスト20%。		
メッセージ	単位取得だけの目的で履修しても、大学レベルでの勉強をしなければ合格はできません。		
オフィスアワー	講義担当日の最初と最後の担当科目の前後一時間は、研究室に居ます。但し、5限は例外で、帰宅します。		
その他			